

1. 略歴

- 1984年3月 成蹊大学文学部英米文学科 卒業
1987年6月 Contemporary British Society Course, School of Oriental and African Studies, University of London 修了
1988年4月 株式会社メディカル・トリビューン 記者
1992年9月 株式会社ジャパン・タイムズ社 記者
2000年6月 Medical Ethics Fellowship Program, Harvard Medical School, Harvard University 修了
2005年3月 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻修士課程修了
2008年3月 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻博士課程修了
博士（保健学）取得（東京大学大学院医学系研究科）
2008年4月 東京大学大学院人文社会系研究科グローバルCOE「死生学の展開と組織化」特任研究員
2012年4月 東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣死生学・応用倫理講座
特任准教授
2017年4月 同 特任教授

2. 主な研究活動

a 専門分野

臨床倫理学、臨床死生学、医療社会学

b 研究課題

エンドオブライフ・ケアの改善

臨床倫理の普及と啓発

臨床死生学の試み

c 概要と自己評価

エンドオブライフ・ケアの改善について

超高齢社会におけるエンドオブライフ・ケアに関して最も一般的かつ深刻な問題に、摂食嚥下困難な高齢者に対する人工的水分・栄養補給法（AHN: artificial hydration and nutrition）の導入・差し控え・中止終了に関する諸問題がある。これは日本の高齢者医療およびケアにおける長年の懸案であった。先行研究が稀有であったこの分野において、会田は数々の実証研究を推進し、その成果を日本老年医学会の「高齢者ケアの意思決定プロセスに関するガイドライン—人工的水分・栄養補給の導入を中心として」の策定につないだ。これが2012年6月に同学会ガイドラインとして公表された後は、その趣旨の普及とそれを踏まえた現場での臨床実践の拡大に努めた。数多くの学術集会および講演等において、医療・介護従事者だけでなく一般市民への浸透を目指して継続的に活動した。この成果は、2015年に開催された第29回日本医学会総会を記念して刊行された『医と人間』（岩波書店）の一章につながり、現代日本の医学会を代表する碩学らの末席で一文を寄稿する機会を得ることができた。

また、この課題を本人と家族の側から捉え、本人と家族が医療・介護従事者の助言を得ながら最善の選択に至ることを支援するため作成した『高齢者ケアと人工栄養を考える—本人・家族のための意思決定プロセスノート』の普及に努めた。この冊子は、臨床倫理学における意思決定プロセスと人のいのちの理解についての清水哲郎特任教授の理論および高齢者ケアにおけるAHNに関する臨床現場の実態についての会田の調査研究をもとにして作られた。総じて、AHNに関する研究・実践活動では、当初計画以上の成果を上げることができた。

さらに、これらの成果を踏まえて、2013年度には慢性腎臓病の専門医療者との協働によって、『高齢者ケアと透析療法を考える—本人・家族の意思決定プロセスノート』の開発に着手し、2015年度の日本透析医学会学術集会に間に合うよう刊行した。これは日本透析医学会の「維持血液透析の開始と継続に関する意思決定プロセスについての提言」（2014）というガイドラインの発表も見据えた研究活動であった。いずれのノートも、本人と家族と医療・介護従事者が本人のために一緒に考え共同の意思決定に至ることを支援するためのツールである。

また、2014～2015年度は意思決定支援に関して世界的に注目されているACP（advance care planning）の文献研究と学術集会での報告を重ね、本学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座が主催する《医療・介護従事者のための死生学》セミナーや日本各地での講演活動を通して、研究知見を社会還元した。

さらに、10年来の研究課題の1つであるfrailty（フレイル）に関する研究知見の整理と発信にも務め、高齢者の人生の最終段階における過少医療および過剰医療への対策としての考え方を示した。frailtyに関しては、国内の老年学

関係者は介護予防のみに注目しているが、会田は frailty が進行した高齢者における適切な医療のあり方について、医療関係者を対象とするセミナーや学術集会等で問題提起した。これは国内では依然として稀な活動であるため、今後、継続的に取り組むことが必要と考えている。

また、高齢者に限らない研究課題として、実証研究をもとに脳死に関する理解を日本の文化的側面も踏まえて深めた。脳死に関する諸問題への対応について専門医療者とともに検討し、社会的に構成される死の概念について日本の臨床現場の実態に基づいて考察し、救急・集中治療現場での患者・家族対応に関する実践知につなげた。

これらの研究・実践活動によって、進展した医療技術が汎用される現代の日本においては、治療行為は行うことも、差し控えることも、治療開始後も本人の状態や本人自身の価値によっては治療を終了して看取することも、いずれも治療の選択肢であることの社会的啓発に努めた。今後はさらに、見送る側の心のケアも含め、本人の人生の集大成を支援するという観点で、医療とケアのあり方に関する考察と理解の深化を図っていくことを目指している。

臨床倫理の普及と啓発について

当研究室の清水教授が主宰する臨床倫理プロジェクトの活動の一環で、全国各地で医療・介護従事者のための臨床倫理セミナーを開催し、基本的な考え方の講義を行い事例検討の支援をした。2014年度は全国各地で計13回のセミナーを実施し、延べ約2,000名が参加した。2015年度は全国各地で計10回のセミナーを開催し、延べ約1,700名が参加した。また、2014年度および2015年度にファシリテーター養成講座を大阪と札幌で開催した。今後も、臨床倫理を一般の医療・介護従事者や市民が理解可能な言葉で表現し、個別症例の倫理問題に多職種協働で具体的に取り組み、現場の実践知とともに高めることを目指している。

臨床死生学の試みについて

当講座の《医療・介護従事者のための死生学》基礎コースにおいて、セミナーの企画・運営と臨床死生学関連の講義を担当し、臨床現場で働く人たちが死生についてどのように理解し、どのようにケアに活かしていくかの研鑽を支援する活動を展開した。

また、年間に10回開催している「臨床死生学・倫理学研究会」の企画・運営を担当し、この分野において研究・実践活動に取り組む研究者や実践家との意見交換の機会を医療・介護従事者および一般市民に提供した。毎回、100名程度が参加し、臨床現場の実態を踏まえて死生の問題に関して議論した。

今後も、現場で生きる臨床死生学の取り組みを継続し、社会のなかで活かす知の集積・活用を目指したい。

d 主要業績

(1) 著書

『高齢者ケアと人工透析を考える—本人・家族のための意思決定プロセスノート』、[清水哲郎監修、会田薫子編、大賀由花ら共著] 医学と看護社、2015.6

(2) 論文その他 (単著あるいは第一著者の論文のみ)

会田薫子、「高齢者医療における倫理的問題を考える—人工的水分・栄養補給法(AHN:Artificial hydration and nutrition)に関する問題を中心に」、『教育医療』、Vol.40No.5、一般財団法人ライフ・プランニング・センター(LPC)、2014年5月、2-3頁。

会田薫子、「高齢者医療における倫理的問題を考える—人工的水分・栄養補給法(AHN:Artificial hydration and nutrition)に関する問題を中心に その2:あるべき終末期医療の姿」、『教育医療』、Vol.40No.6、一般財団法人ライフ・プランニング・センター(LPC)、2014年6月、6-7頁。

会田薫子、「高齢者医療における倫理的問題を考える—人工的水分・栄養補給法(AHN:Artificial hydration and nutrition)に関する問題を中心に その3:一人ひとりの死」、『教育医療』、Vol.40No.7、一般財団法人ライフ・プランニング・センター(LPC)、2014年7月、6-7頁。

会田薫子、「高齢者終末期医療 臨床倫理学・臨床死生学 第2回 高齢患者における人工的水分・栄養補給法の問題を考える Part2」、『臨床老年看護』、日総研出版、2014年5・6月号、93-97頁。

会田薫子、「高齢者終末期医療 臨床倫理学・臨床死生学 第3回 フレイルを考える—侵襲度の高い治療を行う意味とは」、『臨床老年看護』、日総研出版、2014年7・8月号、102-106頁。

会田薫子、「高齢者の終末期医療とケア—evidence-based narrativeの構築へ」、『死の臨床』第37巻第1号、日本死の臨床研究会、2014年6月、27-29頁。

会田薫子、「高齢者における人工的水分・栄養補給法の問題を考える」、『看護倫理 実践事例46』、日総研出版、2014年6月、341-350頁。

会田薫子、「認知症患者におけるPEGの施行・継続は誰が決めるのか:臨床倫理学の立場から」、『消化器の臨床』第17巻第3号、ヴァンメディカル、2014年6・7月号、230-235頁。

会田薫子、「認知症の終末期における人工的水分・栄養補給法の考え方」、『分子精神医学』第14巻第3号、先端医学社、2014年7月、238-240頁。

- 会田薫子、「高齢者終末期医療 臨床倫理学・臨床死生学 第4回 「自己決定」を再考する —本人の意思の尊重とは」『臨床老年看護』、日総研出版、2014年9・10月号、92-96頁。
- 会田薫子、「神経救急における終末期医療 —エンドオブライフ・ケアの視点で考える」、『脳神経外科診療プラクティス4 神経救急診療の進めかた』、文光堂、2014年10月、254-255頁。
- 会田薫子、「高齢者の終末期医療の考え方」、『標準理学療法学・作業療法学 老年学第4版』、医学書院、2014年11月、323-328頁。
- 会田薫子、「高齢者終末期医療 臨床倫理学・臨床死生学 第5回 事前指示からACPへ —本人の意思を尊重するために」、『臨床老年看護』、日総研出版、2014年11・12月号、113-118頁。
- 会田薫子、「延命医療とは何か —肯定できる人生のために」、『老い方上手』、WAVE出版、2014年12月、135-194頁。
- 会田薫子、「このチューブで命をつなぐことは、私の人生にとって最善か?」、『歯科衛生士』、クインテッセンス出版、2014年12月号、44-45頁。
- 会田薫子、「臨床に役立つQ&A 超高齢社会のエンドオブライフ・ケアの動向 —フレイルとエンドオブライフ・ケア」、"Geriatric Medicine", ライフ・サイエンス社、2015年1月、第53巻第1号、73-76頁。
- 会田薫子、「高齢者終末期医療 臨床倫理学・臨床死生学 第6回 尊厳死問題とは何か」、『臨床老年看護』、日総研出版、2015年1・2月号、85-89頁。
- 会田薫子、「胃ろう問題と死生学」、『医と人間』(井村裕夫編)、岩波書店、2015年2月、215-233頁。
- 会田薫子、「高齢者の終末期医療 —人生の集大成を支援する医療とケアの考え方」、『入院高齢者診療マニュアル』、文光堂、2015年4月、281-283頁。
- 会田薫子、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア —フレイルの知見を臨床に活かす」、『日本腎不全看護学会誌』、日本腎不全看護学会、第17巻第1号、2015年4月、37-44頁。
- 会田薫子、「高齢者の終末期医療を考える —医療倫理の視点から考える」、『高齢者の終末期医療を考える』(増田寛也+日本創成会議編)、公益財団法人日本生産性本部発行、2015年6月、14-19頁。
- 会田薫子、「倫理的葛藤と対処」、『施設におけるエンドオブライフ・ケア』(内田陽子・島内節編)、ミネルヴァ書房、2015年9月、99-107頁。
- 会田薫子、「老衰のエンドオブライフ・ケアに必要な“医療とケアの倫理” —「適切な医学的判断」と「人生の物語りのある終末期ケアのために」、『訪問看護と介護』、医学書院、2015年10月、第20巻第10号、839-845頁。
- Aita, K, "Thinking about End-of-life Care for the Elderly. Chapter 2: From the perspective of medical ethics", Discuss Japan: Japan Foreign Policy Forum. January 2016. <http://www.japanpolicyforum.jp/archives/society/pt20160116093042.html>
- (3) 学会・研究会発表 (単独あるいは第一演者の発表のみ)
- 招聘講演「科学技術の進展が変える死の基準 —人生の物語りへの問い」教育講演、第28回小児救急医学会学術集会脳死セミナー、横浜(パシフィコ横浜)、2014.6.8.
- 招聘講演「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」基調講演、第21回日本介護福祉教育学会学術集会、札幌(京王 プラザホテル札幌)、2014.8.28.
- 招聘シンポジスト提題「日本老年医学会 “人工的水分・栄養補給法的意思決定プロセスガイドライン” が目指すもの」、パネルディスカッション3、第52回日本癌治療学会学術集会、横浜(パシフィコ横浜)、2014.8.29.
- 招聘講演「緩和ケアのアプローチ —患者の人生にとっての最善を考える」特別講演、第11回日本在宅静脈経腸栄養研究会学術集会、東京(ソラシティカンファレンスセンター)、2014.10.4.
- 招聘講演「意思決定と事前指示 —高齢社会で求められる Advance care planning」基調講演、第17回病院歯科介護研究会学術集会、岡山(岡山コンベンションセンター)、2014.10.12.
- 招聘講演「長寿社会のエンドオブライフ・ケア」教育講演4、第17回日本腎不全看護学会学術集会、幕張(リゾート東京ベイ幕張)、2014.11.9.
- 招聘シンポジスト提題「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」、シンポジウム「終末期医療をどのように国民にご理解いただくか」、第42回日本集中治療医学会学術集会、東京(ホテル日航東京)、2015.2.9.
- 招聘講演「科学技術の進展が変える死の基準 —人生の物語りへの問い」、第29回日本小児救急医学会学術集会脳死判定セミナー、日本小児救急医学会主催、大宮(大宮ソニックシティ市民ホール)、2015.6.13.
- 招聘シンポジスト提題「超高齢社会のエンドオブライフ・ケア —フレイルの知見を臨床に活かす」、第53回日本癌治療学会学術集会シンポジウム3「“がんと生きる”をサポート(2)」、日本癌治療学会主催、京都(京都国際会議場)、2015.10.29.
- シンポジスト提題「AD から ACP への展開と意義」口演、公募シンポジウム11「ACP の理念と実践 —本人を人として尊重する意思決定支援のあり方をめぐって」、第27回日本生命倫理学会大会、千葉(千葉大学)、2015.11.29.
- 招聘シンポジスト提題「高齢者救急における心肺蘇生法の問題 —フレイルの知見を救急医療に活かす」、日本臨床

倫理学会第4回年次大会シンポジウム3「救命医療における倫理」、東京（日赤看護大学）、2016.3.6.

(4) 研究報告書

『人生の最終段階におけるケア 富山県砺波市庄東地区質問紙調査報告書(詳細分析版)』、科学技術振興機構 (JST) /社会技術研究開発センター (RISTEX) コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域、2015年9月30日.249頁

『高齢者ケアと終末期医療に関する調査』、科学技術振興機構 (JST) /社会技術研究開発センター (RISTEX) コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域、2015年9月30日.120頁.

(5) 研究費の獲得状況

日本学術振興会科学研究費 基盤研究 (A)「臨床倫理検討システムの哲学的見直しと臨床現場・教育現場における展開」(2015~2016) (分担研究者、研究代表=清水哲郎)

科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発センター (RISTEX) 「コミュニティで創る新しい高齢社会のデザイン」研究開発領域 研究開発プロジェクト「高齢者ケアにおける意思決定を支える文化の創成」(2014~2015) (分担研究者、研究代表=清水哲郎)

(6) マスコミ報道

インタビュー「人工透析 使われぬ選択も 患者側への手順 学会が決定」朝日新聞、2014.4.22.34面

インタビュー「死ぬ権利の議論進む欧州 本人の意思を反映する動き」、朝日新聞 Globe The End-of-Life 特集、2014.8.17.G-4面.

インタビュー「米女性 予告どおり安楽死」、朝日新聞、2014.11.4.31面

インタビュー「胃ろうは外せるか 挑む高齢者施設」、週刊朝日、2015.4.17. pp 240-243.

インタビュー「終末期の治療 事前に話す」、日本経済新聞、2015.9.13.

インタビュー「特報首都圏 延命医療をやめられますか」、NHK、2015.10.16.

インタビュー「アドバンス・ケア・プランニングの可能性 人生最期の尊厳性を高める動き」、終活読本ソナエ、2016年冬号、p54.

3. 主な社会活動

(1) 学会

日本生命倫理学会理事

日本医学哲学・倫理学会評議員

日本老年医学会代議員

日本救急医学会倫理委員会委員

日本透析医学会倫理委員会外部委員

日本老年社会科学会会員

日本臨床死生学会会員

(2) 学外組織(学協会、省庁を除く)委員・役員

静岡県立静岡がんセンター治験倫理委員会委員、2014.4~2016.3

一般社団法人日本専門医機構外部評価委員会委員、2014.4~2016.3

PEG・在宅医療研究会(HEQ:Home Healthcare, Endoscopic therapy and Quality of Life)幹事、2014.4~2016.3

NPO 法人 PEG ドクターズネットワーク理事、2014.4~2016.3

NPO 法人 生活介護ネットワーク理事、2014.4~2016.3

(3) 他機関での講義

早稲田大学大学院政治学研究科非常勤講師、「医療とメディア」、2014.4~2016.3

上智大学総合人間科学部非常勤講師、「社会老年学」、2014.4~2016.3

新潟県立看護大学非常勤講師、「老年看護学」、2014.4~2015.3

(4) 講演・研修会講師等

講演、「Advance Care Planning の考え方 一人の意思を尊重するために」、第2回ぐんま地域連携スキルアップセミナー、ぐんま栄養療法ネットワーク主催、高崎(高崎市総合保健センター)、2014.4.19.

講師、「医療・介護従事者のための死生学」2014年度春季セミナー、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上講座主催、東京(東京大学山上会館)、2014.4.20.

講演、「科学技術の進展が変える死の基準 一人の物語りへの問い」、第14回東京大学生命科学シンポジウム、東京大学生命科学ネットワーク主催、東京(伊藤国際学術研究センター)、2014.4.26.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ入門編」、2014年度がん分野における臨床倫理セミナー@仙台、仙台（東北大学大学院医学系研究科保健学科棟大講義室）、2014.5.10.

講演、「医学的意味と倫理的判断」、S-QUE 院内研修 1000'E ナース衛生研修収録、ヴェクソンインターナショナル株式会社、群馬県伊勢崎（三原記念病院）、2014.5.16.

講演、「天寿と延命 一胃ろうで生きるということの意味」、第10回PEG栄養サポート地域連携研究会、PEG栄養サポート地域連携研究会主催、東京（吉祥寺東急イン）、2014.5.23.

講演、「看護管理者が取り組む医療倫理」、独立行政法人国立病院機構中国四国グループ主催、広島県東広島市（国立病院機構中国四国グループ研修室）、2014.5.30.

講演、「高齢者ケアと意思決定 一人生の最終段階を支える文化の創成」、第10回十和田緩和ケアセミナー、十和田緩和ケアセミナー実行委員会主催、青森県十和田市（十和田市立中央病院講堂）、2014.5.31.

講演、「延命医療とは何か 一肯定できる人生のために」、早稲田大学オープンカレッジ、早稲田大学主催、東京（早稲田大学中野国際コミュニティプラザ）、2014.6.7.

講演、「人がより良く生ききるために 一終末期における医療およびケアのあり方」、第3回野桑の里講演会、特別養護老人ホーム野桑の里主催、兵庫県上郡（野桑の里ホール）、2014.6.29.

講演、「高齢者の終末期医療とケアを考える 一食べられなくなったら、どうしますか?」、第4回会津地方の慢性期医療を考える会、会津地方の慢性期医療を考える会主催、会津若松（會津稽古堂）、2014.7.13.

講演、「臨床倫理の考え方、高齢者の終末期医療とケアに関する倫理的問題」、平成26年度高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題に関する研修、公益社団法人日本看護協会主催、神戸（日本看護協会神戸研修センター）、2014.7.17.

講演、「緩和ケアのアプローチ 一長寿時代のエンド・オブ・ライフ・ケア」、福井県内科医会学術講演会、福井県内科医会主催、福井（ユアーズホテル福井）、2014.7.19.

講演、「超高齢社会！ 終末期の豊かなケアを考える 一意思決定プロセスガイドラインの考え方」、神戸市介護サービス協会記念講演会、神戸市介護サービス協会主催、神戸（神戸市医師会館）、2014.7.26.

講演、「高齢者の終末期医療とケア 一倫理的課題と対応」、2014年度ソーシャルワーク・スキルアップ研修「ソーシャルワークにおける臨床倫理」、公益社団法人日本医療社会福祉協会主催、大阪（新大阪丸ビル別館）、2014.7.27.

講演、「人生の最終段階の医療とケア 一延命医療問題について考える」、高齢者住宅セミナーin 東京、高齢者住宅新聞社主催、東京（東京ビックサイト西3・4ホール）、2014.7.29.

講演、「高齢者の終末期医療」、2014年老年医学セミナー、日本老年医学会・国立長寿医療研究センター共催、軽井沢（軽井沢プリンスホテルウェスト）、2014.8.1.

講演、「本人の意思を尊重するための取り組み 一ACPの考え方」、医療・介護従事者のための死生学夏季セミナー、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座主催、東京（東京大学）、2014.8.3.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」、高齢者の終末期医療を考える会講演会、高齢者の終末期医療を考える会主催、札幌（札幌サンプラザ）、2014.8.9.

講師、「Advance care planning の考え方 一本人の意思を尊重するために」、北海道臨床倫理研究会主催・東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座共催、札幌（札幌国際ビル国際ホール）、2014.8.24.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」、京都府医師会地域ケア委員会講演会、京都府医師会主催、京都（京都府医師会館）、2014.9.9.

講演、「高齢者ケアにおける意思決定プロセス 一ACPの考え方」、安芸地区在宅医療推進連絡協議会講演会、安芸地区医師会主催、広島（ホテル・グランヴィア）、2014.9.20.

講演、「認知症のエンドオブライフ・ケア 一人工栄養問題を中心に」、第5回豊生会グループフォーラム、豊生会グループ主催、札幌（札幌サンプラザ）、2014.9.21.

講演、「延命医療問題を考える」、第27回東海大学医学部卒前医学教育ワークショップ、東海大学医学部主催、静岡県小山町（共栄火災富士研修センター レインボー）、2014.9.25.

講演、「高齢者ケアと人工栄養を考える」、新生会市民講座、新生会主催、静岡県富士（ロゼシアター）、2014.9.26.

講師、「臨床倫理 入門編」、第二回臨床倫理セミナーin 砺波、RISTEX 研究プロジェクト「高齢者ケアにおける意思決定を支える文化の創成」主催・市立砺波総合病院看護部共催、富山県砺波（市立砺波総合病院研修室）、2014.9.28.

講演、「高齢者のエンドオブライフ・ケア」、第三回北陸地区臨床倫理事例検討会、北陸地区臨床倫理事例研究会主催・東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座共催、金沢（金沢大学附属病院）、2014.10.5.

講演、「高齢者医療と看取り」、第三回烏山在宅医療連携塾、高齢者救急地域連携塾在宅医療分科会主催、東京（世田谷区立粕谷区民センター）、2014.10.17.

講演、「家族とともに自ら考える最期のとき 一食べられなくなったら、どうしますか？人工栄養について考えましよう」、終末期医療について考える会主催特別講演会、小樽（小樽市医師会館講堂）、2014.10.18.

講演、「天寿と延命—胃ろうで生きるということを考える」、江南医療連携の会主催特別講演会、宮崎（宮日会館）、2014.11.1.

講演、「認知症末期患者に対する人工栄養法について考える」、福井県立すこやかシルバー病院主催講演会、福井（ユニー・アイふくい）、2014.11.22.

講演、「これからの日本人の終生の生き方」、ライフ・プランニング・センター主催ヘルスボランティア講座、東京（砂防会館）、2014.11.26.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア 一事前指示から ACP へ」、平成 26 年度第 2 回東京都介護支援専門員研究協議会主催大規模研修、東京（東医健保会館）、2014.11.29.

講演、「高齢社会における臨床倫理 一最期までその人らしく生きるために」、社会福祉法人石井記念愛染園附属愛染橋病院主催職員研修会、大阪（愛染橋病院）、2014.12.5.

講演、「認知症のエンドオブライフ・ケア 一胃ろうで生きるということを考える」、第 15 回南総認知症研究会、南総認知症研究会主催、千葉県木更津市（オークラアカデミアホテル）、2014.12.11.

講演、「高齢者ケアの最新トピック 一フレイルについて考える」、第 8 回臨床倫理事例研究会、臨床倫理事例研究会主催、大阪府看護協会ナーシングアート、2015.1.11.

講演、「臨床倫理エッセンシャルズ<早分かり>」、第 3 回愛媛地区臨床倫理事例研究会、愛媛地区臨床倫理事例研究会主催、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座「臨床倫理プロジェクト」共催、2015.1.24.

講演、「生命倫理の現在の課題」、2014 年度第 4 回研修会、日本カウンセリング学会主催、東京早稲田大学）、2015.2.1.

講演、「高齢者のいのちを考える 一胃ろう問題とは何か」、日本医学会特別公開フォーラム～第 29 回日本医学会総会 2015 関西プレイベント、日本医学会主催、京都（京都劇場）、2015.2.7.

講演、「高齢社会と終末期医療問題」、第 19 回西兵庫言語嚥下栄養研究会、兵庫県高砂（高砂福祉保健センター）、2015.2.12.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」、文部科学省課題解決型高度医療人材養成プログラム「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革：死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築 キックオフシンポジウム」、岡山大学歯学部・岡山大学大学院医歯薬学総合研究科主催、岡山（岡山大学五十周年記念館）、2015.2.14.

講演、「臨床倫理エッセンシャルズ入門編」、臨床倫理セミナー in 大隅、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座「臨床倫理プロジェクト」主催、鹿児島県鹿屋（県民健康プラザ健康増進センター）、2015.2.15.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア 一緩和ケアの大切さ」、岡山県老人保健施設協会「高齢者の生と死を見つめる会」、岡山県老人保健施設協会主催、岡山（岡山国際交流センター）、2015.2.17.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ入門編」、第 3 回中国地区臨床倫理事例研究会、中国地区臨床倫理事例研究会主催・東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座「臨床倫理プロジェクト」共催、広島（広島県看護協会大研修室）、2015.2.22.

講師、「高齢者ケアのトピック 一フレイルについて考える」、第 3 回中国地区臨床倫理事例研究会、中国地区臨床倫理事例研究会主催、広島（広島県看護協会研修室）、2015.2.22.

講演、「人生の最終段階の医療とケア」、第 13 回聖隷福祉学会、社会福祉法人聖隷福祉事業団主催、浜松（アクティ浜松）、2015.2.28.

講演、「アドバンス・ケア・プランニング 一意思決定の支援と対応のプロセス」、人生の最終段階における意思決定支援」研修会、公益社団法人日本医療社会福祉協会主催、東京（聖路加国際病院研修室）、2015.3.1.

講演、「胃ろうの決定のプロセスと ACP」、第 10 回広島胃ろうと経腸栄養療法研究会（広島ページェント）、広島胃ろうと経腸栄養療法研究会主催、広島（広島国際会議場）、2015.3.8.

講演、「人生の最終段階の医療とケア 一フレイルの知見を臨床に活かす」、北海道自治体病院協議会・小規模病院等看護技術強化研修事業主催研修会、北海道江別（江別市立病院講義室）、2015.3.14.

講演、「人生の最終段階の医療とケア 一フレイルの知見を臨床に活かす」、北海道自治体病院協議会・小規模病院等看護技術強化研修事業主催研修会、北海道砂川（砂川市立病院多目的ホール）、2015.3.15.

講師、「Jonsen の 4 分割法 一臨床倫理事例検討法」、ファシリテーター養成研修、臨床倫理事例研究会主催、大阪（独立行政法人地域医療機能推進機構大阪病院附属看護専門学校講義室）、2015.3.17.

講演、「人生の最終段階の医療とケア 一延命医療問題について考える」、平成 26 年度社会福祉セミナー、千葉市社会福祉協議会主催、千葉（千葉市ハーモニープラザ社会福祉研修センター研修室）、2015.3.18.

講演、「終末期医療をめぐる課題 一医療倫理の観点から」、高齢者の終末期医療勉強会第二回会合、日本生産性本部主催、東京（ANA インターコンチネンタルホテル東京）、2015.3.31.

講演、「高齢者医療と看取り」、高輪会職員研修講習会、高輪会主催、東京（アリアル五反田アネックス）、2015.4.20.

講演、「高齢者のがん治療における適切な治療選択に向けて ―フレイルの臨床活用」、相良病院職員研修会、相良病院主催、鹿児島（相良病院ホール）、2015.4.24.

講師、「フレイルの知見を高齢者医療に活かす」、「医療・介護従事者のための死生学」基礎コース春季セミナー（臨床倫理セミナー@おおさか）、東京大学上廣講座主催、大阪（天満研修センター）、2015.5.9.

講演、「高齢者医療の課題と自己決定・意思表示のとらえ方」、「超高齢社会におけるヘルス・デザイン」講座、ライフ・プランニング・センター主催、東京（砂防会館）、2015.5.20.

講演、「高齢者のエンドオブライフ・ケア」、札幌訪問看護ステーション協議会主催講演、札幌（北農健保会館）、2015.5.23.

講師、「臨床倫理 ―ジョンセンの4分割法とは」、臨床倫理ファシリテータ養成コース研修@北海道、北海道臨床倫理研究会主催・東京大学上廣講座共催、札幌（アスティ45）、2015.5.30.

講演、「フレイルの知見を高齢者医療に活かす」、第9回北海道臨床倫理検討会、北海道臨床倫理研究会主催・東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座共催、札幌（アスティ45）、2015.5.31.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ 入門編」、「フレイルの科学を臨床に活かす」、第3回仙台臨床倫理セミナー、東京大学上廣講座・東北大学大学院医学系研究科保健学専攻緩和ケア看護学教室共催、仙台（東北大学）、2015.7.4.

講演、「食べられなくなったらどうしますか？ 人工栄養で生きるということを考える」、NPO 傾聴グループ めくもりほっとらいん主催「めくもり講座」講演会、習志野（茜浜ホール）、2015.7.11.

講師、「フレイルの知見を臨床に活かす ―高齢者医療とケアの新たな視点」、「医療・介護従事者のための死生学」夏季セミナー、東京大学上廣講座主催、東京（伊藤国際学術研究センター伊藤謝恩ホール）、2015.8.1.

講演、「高齢者医療における倫理的課題と対応」、「高齢者のがん治療における適切な治療選択に向けて ―フレイルの臨床活用」、鹿児島県公的病院等看護部長会主催研修会、鹿児島（鹿児島市医師会病院大研修室）、2015.8.30.

講演、「老化・老衰の科学 ―フレイルについて考える」、NPO 傾聴グループ めくもりほっとらいん主催「めくもり講座」講演会、習志野（茜浜ホール）、2015.9.12.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ入門編」、「ジョンセンの4分割法による事例検討とは」、第4回愛媛地区臨床倫理事例研究会、愛媛地区臨床倫理事例研究会主催、東温（愛媛大学医学部講義室）、2015.9.13.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」、昭和大学歯学部スペシャルニーズ口腔医学講座口腔衛生学部門主催平成27年度研究生研修会、東京（昭和大学）、2015.9.17.

講演、「臨床倫理 入門編」、第4回北陸地区臨床倫理事例検討会、北陸地区臨床倫理事例検討会主催、金沢（金沢大学附属病院 CPD センター&石川県内 TV 会議会場）、2015.9.19.

講師、「アドバンス・ケア・プランニング ―人生の最終段階における意思決定支援」等、愛媛県看護協会研修会、愛媛県看護協会主催、松山（愛媛看護研修センター）、2015.10.3.

講演、「終末期の療養での意思決定支援」、島根県立中央病院緩和ケア講演会、島根県立中央病院緩和ケアワーキンググループ主催、出雲（島根県立中央病院大研修室）、2015.10.16.

講演、「認知症の人の終末期を考える ― 食べられなくなったらどうしますか？」、第4回「いのちの輝きを考える日」、いのちの輝きを考える日実行委員会主催、出雲（出雲市役所くにびき大ホール）、2015.10.17.

講師、「看護倫理」、平成27年度国立病院機構中国四国グループ内実習指導者研修会、東広島（国立病院機構東広島医療センター内研修センター）、2015.10.19.

講演、「人生の集大成を支える高齢者の機能評価 ―フレイルの知見を臨床に活かす」、豊生会職員研修会、札幌（東苗穂病院）、2015.10.30.

講演、「医療・介護者のためのアドバンス・ケア・プランニング」、東区在宅医療支援協議会10月特別例会、札幌東区在宅医療支援協議会主催、札幌（東区民センター）、2015.10.31.

講演、「人生の最終段階の医療とケア ―人工的水分・栄養補給法の問題を中心に」、彦根市立病院倫理委員会主催講演会、彦根（彦根市立病院講堂）、2015.11.6.

講演、「臨床倫理の基礎―看護倫理を現場で活かすために」等、平成27年度インターネット配信研修「高齢者の終末期ケアにおける倫理的問題」、日本看護協会、神戸（日本看護協会神戸研修センター）、2015.11.20.

講師、「超高齢社会の医療とケア ―フレイルの知見を臨床の場に活かす」、第6回共創福祉研究会「死生学セミナー in とやま 2015」、死生学セミナー・イン・とやま実行委員会主催、富山県射水（富山福祉短期大学）、2015.11.21.

講演、「科学技術の進展が変える死の基準 ―人生の物語りへの問い」、MED プレゼン 2015、一般社団法人チーム医療フォーラム主催、東京（日本未来科学館未来館ホール）、2015.11.22.

講師、「フレイルの臨床活用」、第46回暮らしの保健室勉強会、暮らしの保健室主催、東京（暮らしの保健室）、2015.12.1.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ：入門編」、臨床倫理セミナーin ちくご、ちくごかわ研究会主催、久留米大学病院緩和ケアチーム・久留米ネットワークの会共催、久留米（久留米大学）、2015.12.13.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ：入門編」、第10回北海道臨床倫理検討会、北海道臨床倫理研究会主催、東京大学大学院人文社会系研究科死生学・応用倫理センター上廣講座共催、札幌（札幌国際ビル国際ホール）、2015.12.20.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ：入門編」、「AD から ACP へ」、第9回関西臨床倫理研究会、関西臨床倫理研究会主催、大阪（大阪府看護協会ナーシングアート大阪）、2016.1.9.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア」、第1回鹿児島国際歯学シンポジウム、鹿児島大学歯学部主催、鹿児島（鹿児島大学鶴陵会館ウィリアムウィリスホール）、2016.1.30.

講演、「アドバンス・ケア・プランニング —意思決定の支援」、2015年度人生の最終段階における意思決定支援研究会、日本医療社会福祉協会主催、東京（綿商ホール）、2016.1.31.

講演、「延命医療とその選択 —人工的水分・栄養補給法の問題を中心に」、平成27年度施設・在宅看護師交流会講演、静岡県看護協会主催、静岡（静岡県看護協会第一研修室）、2016.2.17.

講師、「事例検討法 —臨床倫理の方法と実際」、「臨床倫理セミナー」、独立行政法人国立病院機構東広島医療センター主催、東広島（東広島医療センター大会議室）、2016.2.24.

講演、「長寿時代のエンドオブライフ・ケア—胃ろう問題と死生学」、新川地区在学医療療養連携協議会講演会、新川地区在宅医療療養協議会主催・新川地区在宅医療支援センター共催、富山県魚津（ホテルグランミラージュ）、2016.2.26.

講演、「認知症の看取り —食べられなくなったらどうしますか?」、市民公開講座「認知症プレミアム講演会」、さいたま市与野医師会主催、2016.3.5.

講演、「人生の最終段階の医療とケア —延命医療問題について考える」、平成27年度社会福祉セミナー、千葉市社会福祉協議会主催、千葉（千葉市社会福祉協議会ハーモニー）、2016.3.7.

講師、「ファシリテーションの方法とグループワークの進め方」、ファシリテーター養成第二期研修、関西臨床倫理研究会主催、2016.3.10.

講演、「これからの高齢者医療とケア —フレイルの知見を臨床に活かす」、平成27年度社会福祉系実習研究会、熊本学園大学社会福祉学部主催、熊本（熊本学園大学講義室）、2016.3.12.

講師、「臨床倫理エッセンシャルズ 入門編」、函館ものがたり塾—臨床倫理とものがたりの原点、函館ジェネラリスト・カレッジ主催、函館（函館市民会館）、2016.3.26.